

放課後子ども教室



今回の訪問（2019年12月13日）は「城西っ子1455」です。

- ・開設年度・・・平成30年度（委託はR元年度から）
- ・活動回数・・・年間28回
- ・対象・・・小学校1年生～6年生
- ・主な活動・・・自然観察、レクリエーション、琴、マジック、科学遊び、短大の企画、英語、工作（折り紙、木工、ちぎり絵）まちなか探検等

みんなが笑顔の閉講式

12月13日（金）は「城西っ子1455」の最終活動日でした。この日はフラワーデザインとして「クリスマスリース」を作りました。上級生が下級生を手伝ってあげているほほえましい光景が見られました。完成後はお互いに見せ合い、たくさんの笑顔が見られました。

「クリスマスリース」作り後は閉講式を行いました。今年度の活動を振り返っての感想発表では、4年生の男の子は「学年関係なくみんなで遊べて楽しかったです。」2年生の女の子は「いろんなことを知ったり、できるようになったりしてうれしかったです。」とそれぞれ感想を述べました。



子どもたちからコーディネーターの方や指導員の方へお礼のメッセージカード！ 感激！

コーディネーターの

石田実さんのお話

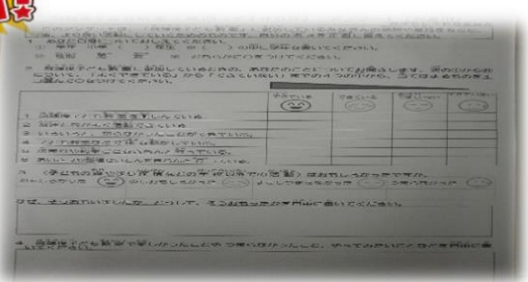


放課後の開放感のある子ども達にけがをさせないように活動をさせることが大変でした。声を荒げて注意したいときもありましたが、家庭の背景を知り、一人一人に寄り添っていくと、不思議と子どもたちをいとおしく思えるようになりました。いろいろな家庭の形がありますが、それを地域の人たちで支えてあげたいと思っています。今では、町やスーパーでばったり会うと、子どもたちの方から声をかけてくれたり、駆け寄ってくれたりします。そんなつながりがとてもうれしいです。それがやりがいです。

次年度へ生かすための会津若松市の取り組み



児童用アンケート



児童用・保護者用のアンケートを作成・実施し、最終日までに回収します。感想や意見を次年度の参考にします。会津若松市は全ての放課後子ども教室で取り組んでいます。

一体型や連携型を見据えた運営

全ての児童が利用可能になり、また、予算削減の中で活動を存続していく上で放課後児童クラブとの一体型、連携型とする「新・放課後子ども総合プラン」が策定されました。しかし、余裕教室の不足などにより実施に至るまでの環境が整っていません。「城西っ子1455」も児童クラブ4教室との一体型は、総勢150名となるため、現段階での運営は困難です。しかし、体育館や校庭で行うプログラムについては、連携していくなど、『できることから取り組んでいきたい』と、会津若松市生涯学習センターの荒井さんが話してくださいました。一体型や連携型を見据えた運営は、今後のプログラムを考える上での参考になります。